

ダイワファンドラップ 日本株式セレクト 投資対象とする投資信託証券の追加のお知らせ

2016年9月10日

平素はダイワファンドラップをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

「ダイワファンドラップ 日本株式セレクト」においては株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、指定投資信託証券の選定、組入比率の決定を行っておりますが、この度、投資対象とする投資信託証券の追加を実施しましたのでお知らせします。

投資対象として新たに追加する投資信託証券

当ファンドの運用助言者である株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言に基づき、投資対象とする投資信託証券の追加を9月10日に実施しました。

◇追加型証券投資信託「ダイワ成長株オープン(FOFs用)(適格機関投資家専用)」

(追加する理由)

- ・ 高成長銘柄と安定成長銘柄に対するバランスの良い組み合わせを行いながら機動的に比率調整を行っており、安定的な収益獲得が期待されることと、ファンドの分散をはかり、投資リスクを軽減させるため。

(運用会社)

- ・ 大和証券投資信託委託株式会社

◇追加型証券投資信託「ニッセイJPX日経400アクティブファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)」

(追加する理由)

- ・ 大型株を中心に厳選された成長株とボトムアップ・アプローチによって選定した中型株を組み合わせしており、安定的な収益獲得が期待されることと、ファンドの分散をはかり、投資リスクを軽減させるため。

(運用会社)

- ・ ニッセイアセットマネジメント株式会社

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

投資対象として新たに追加する投資信託証券

◇追加型証券投資信託「リサーチ・アクティブ・オープンF(適格機関投資家専用)」

(追加する理由)

- 徹底的なボトムアップ・アプローチを行うことによって株主資本利益率(ROE)をはじめとした経営のクオリティーの向上が期待できる銘柄を絞り込んでおり、効率的なポートフォリオの構築がなされているため。また、大型株寄りのポートフォリオとなっており、組み入れファンド全体で規模の分散を図ることにより投資リスクの低減が期待されるため。

(運用会社)

- 野村アセットマネジメント株式会社

投資信託証券の状況

	対象資産	指定投資信託証券
投資対象となる既存の投資信託証券	国内株式	ダイワ・バリュー株・オープン
	国内株式	GIM日本株・ファンド
	国内株式	ダイワ好配当日本株投信Q
	国内株式	J Flag 中小型株ファンド
	国内株式	スピリタス・ディスティレーション・ファンド
	国内株式	T&D／マイルストーン日本株ファンド
	国内株式	大和住銀ニッポン中小型株ファンド
	国内株式	ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド
	国内株式	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド
	国内株式	SBI／アリアンツ日本株集中投資戦略ファンド
	国内株式	日本小型株フォーカス・ファンド
新規追加の投資対象となる投資信託証券	国内株式	ダイワ成長株オープン
	国内株式	ニッセイJPX日経400アクティブファンド
	国内株式	リサーチ・アクティブ・オープンF

※ ファンド名は「(FOFs用)(適格機関投資家専用)」を省略しています。「Q」は四半期決算。

※ リサーチ・アクティブ・オープンFの正式名称は、リサーチ・アクティブ・オープンF(適格機関投資家専用)です。

以上

【ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ】
ダイワファンドラップ 日本株式セレクト

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的
●各ファンドの目的は、次のとおりです。

ファンド名	ファンドの目的
FW日本株式セレクト	わが国の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
FW外国株式セレクト	海外の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
FW外国株式EM+	
FW日本債券セレクト	わが国の債券に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。
FW外国債券セレクト	海外の債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
FW外国債券EM+	
FW J-REITセレクト	わが国のリート（不動産投資信託）に投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。
FW外国REITセレクト	海外のリート（不動産投資信託）に投資し、信託財産の中長期的な成長と配当等収益の確保をめざします。
FWコモディティセレクト	コモディティ（商品先物取引等）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。
FWヘッジFセレクト	絶対収益 ^(注) の獲得により、信託財産の成長をめざします。 (注)「絶対収益」とは必ず収益を得るという意味ではなく、市場等の動きに左右されない（相対的でない）収益、という意味です。

(※) 上記10本のファンドを総称して「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」といいます。

ファンドの特色

- 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」は、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。
 - 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」の購入の申込みを行なう投資者は、販売会社と投資一任契約の資産を管理する口座に関する契約および投資一任契約を締結する必要があります。
- 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」を構成する各ファンドは、投資対象が異なり、投資信託証券への投資を通じて実質的な運用を行ないます。
FW 日本株式セレクトは、複数の投資信託証券^(注)への投資を通じて、わが国の株式に投資します。
(注) 以下、「指定投資信託証券」といいます。
- 指定投資信託証券の選定、組入比率の決定は、株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、これを行ないます。
- FW 日本株式セレクトは、わが国の株式を実質的な投資対象とする複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

【ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ】
ダイワファンドラップ 日本株式セレクト

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

- ◆下記は、平成 28 年 9 月 10 日現在の投資信託証券（指定投資信託証券等）の一覧であり、今後、名称変更となる場合、繰上償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合があります。
- FW 日本株式セレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象	ベンチマーク
ダイワ・バリュー株・オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和証券投資信託委託株式会社	わが国の株式	TOPIX（東証株価指数）
GIM日本株・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社		TOPIX（配当込み）
ダイワ好配当日本株投信Q（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和証券投資信託委託株式会社		—
J Flag 中小型株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社		—
スピリタス・ディスティレーション・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社		—
T&D／マイルストーン日本株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	T&Dアセットマネジメント株式会社		—
大和住銀ニッポン中小型株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和住銀投信投資顧問株式会社		—
ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和証券投資信託委託株式会社		—
DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	DIAMアセットマネジメント株式会社		—
SBI／アリアンツ日本株集中投資戦略ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	SBIアセットマネジメント株式会社		TOPIX（配当込み）
日本小型株フォーカス・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社		—
ダイワ成長株オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和証券投資信託委託株式会社		—
ニッセイJPX日経400アクティブファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	ニッセイアセットマネジメント株式会社		JPX日経インデックス400（配当込み）
リサーチ・アクティブ・オープンF（適格機関投資家専用）	野村アセットマネジメント株式会社		—

- ◆ベンチマークについて
 - ・TOPIX は東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。
 - ・JPX 日経インデックス 400 は、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される新しい株価指数です。JPX 日経インデックス 400 は、株式会社日本取引所グループ、株式会社東京証券取引所および株式会社日本経済新聞社が算出します。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

【ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ】
ダイワファンドラップ 日本株式セレクト

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 0.4752% （税抜 0.44%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.24948%（税抜 0.231%）～年率 0.8856%（税抜 0.82%）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 （平成28年8月時点）	年率 1.044±0.32%程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会